

一般社団法人 未踏科学技術協会
平成25年度 事業報告書
(H25.4.1 ~H26.3.31)

平成25年度、未踏科学技術協会は、多分野にわたる先端的科学技術の総合的、基礎的または共通的な調査研究およびそれらの成果の普及、ならびに情報の交換や国内外の研究者間の交流を図るため、下記のような事業活動を推進してまいりました。

この報告書は、平成25年度の当協会の活動状況をまとめたものです。
(詳細は[附属明細書 1][附属明細書 2]を参照)

A. 庶務事項

1. 理事会3回(第5回、第6回、第7回)を開催いたしました。(*第6回は書面による理事会)
2. 定例総会1回(第3回)を開催いたしました。
第3回総会では、平成24年度事業報告および収支決算の承認と平成24年度公益目的支出計画実施報告書の監査報告、平成25年度役員報酬の承認を行いました。

B. 事業活動

1. 継続事業

(1) 平成25年度未踏科学サマー道場 <ポリマー精密合成の基礎と応用>を開催いたしました。

2. 講演会の開催、研究会、委員会等の運営および各種調査・普及活動

- (1) 未踏科学技術協会創立40周年記念シンポジウムを開催いたしました。
(シンポジウム協賛：一般財団法人新技術振興渡辺記念会)
- (2) 特別講演会を、アグロサイエンスシリーズ1回、安全対策シリーズ1回、春の特別講演会1回 の合計3回を開催いたしました。
- (3) ライフサイクルアセスメント(LCA)講座
LCA実践講座は、無料講演会を2回、特別企画講演会を2回、入門コースを2回、初級コースを2回、実践コースを1回、演習コース1回、それぞれ開催いたしました。
- (4) 公開講演会では、インテリジェント材料・システム研究会が、シンポジウムを1回開催し、そのシンポジウムにおいて第23回高木賞授与式を執り行いました。
磁性材料研究会21の中に設置された「希土類磁石とその応用探究分科会」が、公開フォーラムを1回開催いたしました。
ナノ粒子・構造応用研究会が、公開講演会を2回開催いたしました。
またそれぞれの公開講演会は、運営のための研究会、委員会を開催いたしました。

3. 調査・発掘・展開の推進

- (1) 平成25年度は、(株)ソディック新横を吸収合併した(株)ソディックに対し、医療用ロボット技術を含む新規共同研究課題を3件提案し、そのうち2件の予備調査を行って、共同研究の実施を目指しましたが、最終的に合意に達せず、共同研究の再開を断念して、平成26年2月1日を以て共同研究開発契約を完全終了いたしました。
- (2) (株)放電精密加工研究所との共同研究は、調査研究期間を平成26年3月16日まで1年延長して新しい共同研究課題を探索し、3Dプリンティングによる金属造型の展開を含む2件の新提案を行いました。が、(株)放電精密加工研究所の事業の抜本的拡充との整合が困難なため、平成26年3月16日を以て共同研究開発契約を完全終了いたしました。
- (3) 新技術振興渡辺記念会の科学技術調査研究助成を受けて、3件の調査研究を推進いたしました。

4. 特定研究会の運営

各研究会では、以下の事業及び会議を開催いたしました。

(1) 超伝導科学技術研究会

研究会運営のための総会(1回)、幹事会(6回)、各種委員会(6回)を開催し、会員向けの会報(4回)を発行いたしました。また、シンポジウム(1回)、ワークショップ(3回)を開催し、米国デイトンで開催された US-Japan Workshop (隔年日米交互に開催)に協力いたしました。超伝導材料研究分野においてインパクトを与えた人を対象に第17回超伝導科学技術賞を選考し、シンポジウムにおいて授賞式を執り行いました。

(2) エコマテリアル・フォーラム

フォーラム運営のための総会(1回)、幹事会(2回)、各種委員会(6回)を開催した他、国内シンポジウム(1回)、研究テーマワーキンググループ等の活動としてワークショップ(3回)、意見交換会(2回)、座談会(2回)をそれぞれ開催いたしました。

また第11回エコマテリアル国際会議(ICEM11)をベトナム・ハノイ工科大学で開催いたしました。

(3) エコイノベーションとエコビジネスに関する研究会 (SPEED 研究会)

研究会運営のための総会(1回)、幹事会(2回)、次年度箱根セミナー企画会議(1回)を開催し、そこで企画された定例研究会(5回)、記念シンポジウム(1回)を開催いたしました。

また例年開催されているセミナーを軽井沢で開催し(軽井沢セミナー)、その成果として書籍「宇宙船地球号のグランドデザイン」を出版いたしました。

5. 外部からの補助金事業、受託・請負事業

(1) 公的機関からの補助金事業および請負事業の実施

- ・ 経済産業省より、「平成25年度グリーン貢献量認証制度等基盤整備事業(基盤整備事業に関する受容性調査事業)」を受託いたしました。(調査研究期間 平成25年7月16日～平成26年1月31日)
- ・ 環境省より、「平成25年度環境研究総合推進費「プラットフォーム化を目指した日常行動に関わるLCAデータの整備と教材開発(LCA的思考法教育マテリアルの試行と評価)」を受託いたしました。(調査研究期間 平成25年5月10日～平成26年3月31日)
- ・ 日本原子力研究開発機構より、「核融合原型炉用超伝導コイル開発に関する産業界の技術調査」を受託いたしました。(調査研究期間 平成25年6月1日～平成26年1月31日)
- ・ 産業技術総合研究所より、「グリーン・ナノエレクトロニクスのコア技術開発(GNC)最終成果報告会開催支援業務」(調査研究期間 平成25年7月23日～平成25年12月24日)、「消費行動に関するシナリオ・基礎データの調査」(調査研究期間 平成25年2月15日～平成26年3月31日)の2件を受託いたしました。

(2) その他民間からの受託及び請負事業の実施

- ・ 環境情報科学センターより、「エコチル調査国際シンポジウム in 名古屋」開催支援業務を受注いたしました。(業務請負期間 平成25年10月4日～平成25年11月26日)
- ・ みずほ情報総研株式会社より、「IPCC AR5 を伝えるプログラム事業」の伝道者説明会(関東地区)における運営支援業務を受注いたしました。(業務請負期間 平成26年1月6日～平成26年2月3日)
- ・ 新材料、新技術、環境問題に関する調査研究の実施、第11回エコバランス国際会議の開催支援および日本LCA学会などの運営に事務局として協力いたしました。

6. 出版・広報事業

- (1) 広報活動の一環として、会報「未踏科学技術」を4回(うち1回は創立40周年記念特集号)継続発行しました。
- (2) 特定研究会の活動による会報やニュースレター、その他、平成25年度に完了した調査研究の成果報告書および平成25年度中に開催した会議の講演録や資料等を多数発行、また発行に協力いたしました。
- (3) 協会の活動や、主催する行事、事業の広報のためにホームページを作成、更新作業を行いました。